

浅香山病院で診療を受けられた患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象に該当となる方で、この研究に関するご質問や、診療情報等を研究目的に利用されることを
ご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

対象となる方	平成 27 年 4 月より令和 7 年 6 月までの期間に当院一般科に入院された患者様で、LAI・クロザピン治療を受けた、あるいはそれを中止せざるを得なかった患者様
研究課題名	浅香山病院での一般科病棟での LAI、クロザピン処方および中止事例の検討
当院の研究責任者	公益財団法人浅香山病院 臨床研究研修センター副センター長・精神科部長 正木 慶大
本研究の研究責任者 (他施設研究の場合)	なし
研究の概要 (目的・方法)	クロザピン、抗精神病薬持続性注射剤（LAI）は、治療抵抗性統合失調症の治療薬であり、LAI は双極性感情障害への適応も取得している。共に使用事例は症状面で重症な患者様への導入が目立つ。 令和 2 年度の診療報酬改定で精神科病棟等における質の高い医療を評価し、地域移行・地域定着支援を推進する観点から LAI 普及があり、令和 4 年度の診療報酬改定では精神科救急治療病棟でクロザピン導入を推進されたので共に導入事例は全国的に増加傾向である。 しかし共に精神科病棟以外では対応困難となることが多く、導入後に患者様が身体疾患に罹患した治療場面では継続が困難になるという矛盾を生じさせている。 今回浅香山病院での身体治療場面での LAI、クロザピン事例を検討することで、身体疾患治療での実情や矛盾について考察する。
研究実施期間	倫理委員会承認より令和 9 年 3 月末日まで。
試料/情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	上記期間に電子カルテ上で閲覧し調査項目を確認する。罹病期間、精神科入院回数、導入理由、中止された場合は中止理由などについて調査する予定。個人のデータは匿名化し個人情報の保護に十分な配慮を行う。調査の結果については学術集会、学会誌で公表する。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	公益財団法人浅香山病院 臨床研究研修センター副センター長・精神科部長 正木 慶大（研究責任者） 〒590-0018 大阪府堺市堺区今池町 3 丁 3 番 16 号 TEL：072-229-4882（代表）
備考	ご了承いただけない場合は令和 7 年 7 月 1 日より令和 7 年 12 月 15 日までの間にご連絡ください。